

北海道スマート農業セミナー

ロボット技術やICTを活用したスマート農業技術は、確実に進む労働力不足や農業従事者の高齢化への対応が求められる北海道農業の将来を支える新たな仕組みとして期待されています。

現在、GPSガイダンスシステムや自動操舵システムの導入が進み、作業負担軽減や資材節減効果などが明らかにされつつあります。

加えて、画像診断などにより作物の生育や作業を記録、解析し、ほ場生産性を向上させる技術も着々と実用化が進められ、一層精力的に開発が進められています。

今後は少ない人数で労働生産性を向上させつつ、作物の品質と生産力の向上を同時に果たし、多様な品目の生産を維持する魅力ある地域づくりが求められます。技術開発の最新情報に触れ、技術が地域農業にどのように関わるのかを考えます。

- <日時>** 平成29年3月23日(木) 13:15~16:45
<会場> かでる2・7 ホール (住所:札幌市中央区北2条西7丁目)
<テーマ> 「ICT研究の最前線と地域で進むスマート農業の活用」
<参集> 行政、農業団体、民間企業、一般(どなたでも参加いただけます。)

プログラム

- 13:15 挨拶
- 13:20 基調報告
「研究の現場から 今後注目すべきICT技術開発」(仮称)
(国研)農研機構北海道農業研究センター芽室拠点
ICT農業グループ長 澁谷 幸憲 氏
- 情勢報告
- 13:50 (1) 「スマート農業協議体の活動について」
北海道農政部生産振興局技術普及課
主幹(研究連携) 大塚 真一
- 14:00 (2) 「作業記録から見えるもの」(仮称)
(国研)農研機構北海道農業研究センター芽室拠点
上級研究員 西脇健太郎 氏
- 14:30 (3) 「画像から見えるもの」(仮称)
(国研)農研機構北海道農業研究センター芽室拠点
主任研究員 杉浦 綾 氏
- 15:00 (4) 「スマート農業をより身近に - 低コスト化技術開発への挑戦」
(株)農業情報設計社
代表取締役 濱田 安之 氏
- 15:30 (休憩)
- 15:40 パネルディスカッション
「先進技術によって変わる地域農業の未来像」
【コーディネーター】
農研機構北海道農業研究センター芽室拠点 澁谷 幸憲 氏
【パネラー】
農研機構北海道農業研究センター芽室拠点 西脇健太郎 氏
農研機構北海道農業研究センター芽室拠点 杉浦 綾 氏
(株)農業情報設計社 濱田 安之 氏
道総研中央農業試験場 鈴木 剛 氏
北海道農政部技術普及課 大塚 真一
- 16:45 閉会

北海道スマート農業セミナー参加申込

開催月日：平成29年3月23日（木） 13：15～16：45

会 場：かでの2・7 ホール

テ ー マ：「ICT研究の最前線と地域で進むスマート農業の活用」

所属・役職	出席者名
	(フリガナ)
住所 〒 TEL FAX	

<連絡先>

〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目
北海道 農政部 技術普及課 高橋

Eメール：takahashi.masami2@pref.hokkaido.lg.jp

TEL：011-204-5380

FAX：011-232-1091